

[前画面へ戻る](#)

科目名	経営分析Ⅰ
配当年次	1 年次
開講期間	春学期
単位数	2
担当教員	山田 優子(ヤマダ ユウコ)
期間・曜日・時限・教室	春学期 木曜日 3 時限 1 7 - 5 0 2

※

【授業の概要】

「経営分析Ⅰ」および「経営分析Ⅱ」では、ビジネス会計検定を扱う予定である。「経営分析Ⅰ」を基礎編（3級）、「経営分析Ⅱ」を応用編（2級）と位置づけているため、あわせて履修することを推奨する。

【授業の目的】

会計は「ビジネスの言語」といわれ、企業にとって不可欠なものである。すなわち、企業は事業活動の結果を帳簿に記録し、財務諸表を作成しなければならない。財務諸表は、企業を取り巻く利害関係者がその企業の財政状態および経営成績を理解するうえで重要なだけでなく、企業内部での経営管理にも役立つ。

本講義では、企業が外部に公表している財務諸表を利用して行う財務諸表分析と、企業内部での業績管理（利益管理、資金管理等）のさまざまな手法を理解する。

【習得できる力】

経営学部ディプロマポリシーあるいは全学部ディプロマポリシーとの関連については、別紙に示します。

【授業の到達目標】

本講義の目標は、財務諸表の構造・読み方・分析等の基礎知識（ビジネス会計検定3級合格程度）を習得することである。

【実務経験と授業内容との関連】

担当教員は、公認会計士として財務諸表監査やコンサルティングの実務経験があり、企業の実例を織り交ぜながら講義を展開する。

準備学習等の指示 1 回の授業につき 3 時間半の準備学習が必要です。
課題の配布や提出を行うため、WebClass等のLMSを用います。
必ず電卓を持参すること。

会計学に関心があり、ワークショップや課題にも主体的に取り組む意欲のある学生を歓迎する。

講義スケジュール

■ 1回目

- 【テーマ】 ガイダンス
- 【到達目標】 本講義の概要を理解する
- 【準備学習】 シラバスを確認する

■ 2回目

- 【テーマ】 第1章「財務諸表」とは
- 【到達目標】 企業内容開示制度・監査制度を理解する
- 【準備学習】 講義時に指定された宿題（復習・予習）

■ 3回目

- 【テーマ】 第2章「貸借対照表」
- 【到達目標】 貸借対照表の仕組みを理解する
- 【準備学習】 講義時に指定された宿題（復習・予習）

■ 4回目

- 【テーマ】 第3章「損益計算書」
- 【到達目標】 損益計算書の仕組みを理解する
- 【準備学習】 講義時に指定された宿題（復習・予習）

■ 5回目

- 【テーマ】 第5章「財務諸表分析」－安全性分析
- 【到達目標】 安全性指標（支払能力）を理解する
- 【準備学習】 講義時に指定された宿題（復習・予習）

■ 6回目

- 【テーマ】 第5章「財務諸表分析」－収益性分析
- 【到達目標】 収益性指標（利益を稼ぐ力）を理解する
- 【準備学習】 講義時に指定された宿題（復習・予習）

■ 7回目

- 【テーマ】 第4章「キャッシュ・フロー計算書」
- 【到達目標】 キャッシュ・フロー計算書の仕組みを理解する
- 【準備学習】 講義時に指定された宿題（復習・予習）

■ 8回目

- 【テーマ】 第5章「財務諸表分析」－キャッシュ・フロー分析
- 【到達目標】 キャッシュ・フロー情報（資金のバランス）を理解する
- 【準備学習】 講義時に指定された宿題（復習・予習）

■ 9回目

- 【テーマ】 第5章「財務諸表分析」－成長性分析
 【到達目標】 成長性指標（会社は伸びているか）を理解する
 【準備学習】 講義時に指定された宿題（復習・予習）

■ 10回目

- 【テーマ】 第5章「財務諸表分析」－1株当たり分析
 【到達目標】 1株当たり分析（株価は高いか低い）を理解する
 【準備学習】 講義時に指定された宿題（復習・予習）

■ 11回目

- 【テーマ】 事例研究－課題のプレゼン①
 【到達目標】 各自、事例研究の成果をプレゼンする
 【準備学習】 プレゼンの準備

■ 12回目

- 【テーマ】 事例研究－課題のプレゼン②
 【到達目標】 各自、事例研究の成果をプレゼンする
 【準備学習】 プレゼンの準備

■ 13回目

- 【テーマ】 事例研究－課題のプレゼン③
 【到達目標】 各自、事例研究の成果をプレゼンする
 【準備学習】 プレゼンの準備

教科書 『ビジネス会計検定試験 公式テキスト 3級』中央経済社、¥1,600＋税

参考文献 『基本から学ぶ会計学』中央経済社、¥2,900＋税

講義は毎回「（前半）知識のインプット・（後半）ワークショップ」のセットで行う。

授業の方法 授業方法として下記のアクティブラーニングの手法を実践します。

・グループワーク

・プレゼンテーション

【フィードバック方法】小テストについては、採点后、解説・講評等を行う。

【評価方法】小テスト・プレゼン・定期試験

成績評価方法 【評価割合】小テスト（15%）・プレゼン（15%）・定期試験（70%）

【評価基準】上記の総合評価により、S：90点以上、A：80点以上、B：70点以上、C：60点以上

オフィスアワー 木曜日：昼休み

居室 17号館3F研究室

ホームページ N/A

【ナンバリング ： MAN239J】

その他特記 事項 【履修条件】「会計入門Ⅰ」「会計入門Ⅱ」履修済（単位認定も可）であること。
担当教員は、公認会計士として財務諸表監査やコンサルティングの実務経験があり、企業会計やコーポレート・ガバナンスに精通している。

添付ファイル

[前画面へ戻る](#)

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011